

## 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

|      |                   |    |    |
|------|-------------------|----|----|
| 所属   | 法学部               | 身分 | 教授 |
| 氏名   | 牛嶋 仁              |    |    |
| NAME | USHIJIMA, Hitoshi |    |    |

## 1. 研究課題

（和文）環境行政法の体系とその実施・執行に関する比較法分析

（英文）Exploring Codification and Implementation of Environmental Regulatory Law from Comparative Perspectives

## 2. 研究期間

2019・2020・2021年度 ※2021年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により1年間延長

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

本研究は、環境行政法の体系とその実施・執行について、比較法の手法により、その現状と課題の分析を行うことを目的とした。具体的には、①海外への日本法発信（英語による）と②海外法制度（欧米亜諸国）の検討によるグローバル環境法（国際環境法、トランスナショナル環境法、比較環境法をその内実とする）及び日本法の再検討という双方向の比較法分析を行うことを計画した。

2019年度は、日本、ミャンマー、タイ、アメリカにおいて、上記②の研究を実施した（上記①の発信については、4. 研究成果参照）。

ところが、2019年度年度末からCOVID-19がグローバルにまん延することとなり、2020年度と2021年度の上記②の研究は、日本で実施することとなった。上記①についても、4. 研究成果記載のとおり、学会等報告については、オンラインのみの発信となった。

環境行政法の実施・執行については、研究期間中に相当程度、研究を進め、成果の公表をすることができたが、環境行政法の体系については、研究期間終了後に他の研究課題と併せてその分析をまとめる予定である。

なお、上記研究成果は、本学における教育（講義・演習等、特に、海外研修や本学における英語による授業）に反映している。

（英文）

The goals of this research are two-fold: first, exploring models of a comprehensive environmental regulatory law, and second, implementation analysis of environmental regulatory law, both of which were carried out from comparative perspectives. The outcome will contribute to the development of environmental law by analyses of responses to cutting-edge environmental issues in a global society.